

八丈島探検記～本編①

贅田隼人（だにえる）

お元気ですか、だにえるです。僕は元気です。なかなか思い通りにならないご時世ですが、できることを少しずつでもできたらなと思います。そんなわけで、八丈島探検記本編で少しでも楽しんでもらえたら幸いです。

1. 敵は暑さとアンダーパス

八丈島の綺麗な景色！からは始まりません。旅行の始まりは玄関からです。アパートから竹芝栈橋への約40キロ程度の道のりで、楽しいところは特にないのですが原付旅をおすすめする手前、どうしても書いておかななくてはいけないことがあるのです。

それは、暑さ対策と都心のアンダーパスについて！原付もバイクにも乗らない人は読み飛ばして大丈夫です。夏に原付を乗る場合でも、安全性を考えると長袖長ズボン必須です。メッシュ素材や接触冷感の肌着などを活用するといいたいと思います。ワークマンにお世話になりました。それと、ちょっとした時間で水分補給ができるように水筒やペットボトルホルダーなどもあるといいたいと思います。僕の場合はパニアバックについていたので、信号待ちをしているときに給水していました。もちろん、1時間ごとにコンビニなどに立ち寄ってしっかりと休憩をとるなどの対策も大事だと思います。不注意や体調不良で事故にあっては旅行や冒険どころではなくなってしまいますから。

暑さの話はこのくらいにしてアンダーパスの話します。ここで僕が話題にしたいのは、都内などに見られる交通量が多い道路の交差点や信号を回避するためにあるようなアンダーパスです。だいたい2輪通行止めになっているように思います。これにうっかり入ると2点減点と5000円（原付以外は6000円だそうです）の反則金。これから原付やバイクに乗ってみようかなと思う人がいたら気を付けてください。



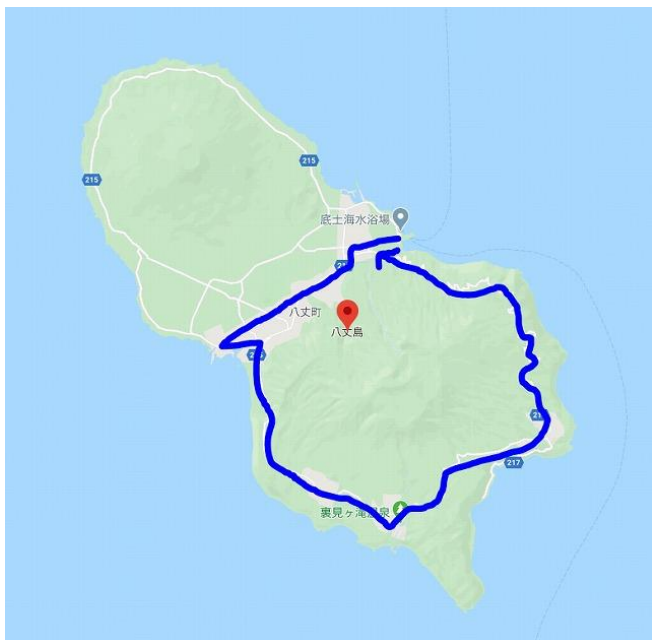
さて、そんなアンダーパスを避けるために、道を逸れ、交差点に捕まり、アンダーパスを通過してきた車と合流し、また避けるために道を逸れ…。と、繰り返してへろへろになって竹芝栈橋へと向かいます。二段階右折できない道路があって、あたふたして赤信号に突っ込んでいきそうになったところを警察の人に呼び止められるなんてこともありまし

た。捕まえたりせずに教えてくれて、良い旅をなんて見送ってくれる心温まる出来事もありましたが無事に到着できました。

2. 両手にパニアとヘルメット

船の出発は22時30分ですが、暑さや道路が混む前にと早めについたのでしばらく時間がありました。東海汽船のロッカーに荷物を入れて、リトルカブは近くの駐輪場に置いて、喫茶店などで涼むことに。40キロ程度の距離でも、結構しんどかったのでもうビールでも飲んでしまいたかったけど、駐輪場から動かすときにまだ乗るので我慢…。20時前にリトルカブと一緒に東海汽船へ戻り、事前に予約してあったのでスムーズに乗船券の発行とリトルカブの預け入れができました。原付などの受け付けは、必ず事前予約をしておかななくてはならないので要注意です。それと、パニアバックのようなバイクにつけておくタイプの荷物は、ヘルメットだろうとRVボックスだろうとなんだだろうと外すように言われるのが不思議です。つけたままだと追加料金を請求されるので、外して手荷物として乗船します。お互い得しないと思うのですが、このきまり…。

あとは時間まで待つだけです。8月中旬だったので、家族連れのお客で待合所も賑やかでした。22時30分、予定通り八丈島へ向け黄色の船体が鮮やかな橋丸で出航しました。レインボーブリッジの下を通り、夜の東京湾を進んでいくのは二回目でもワクワクしますね。東京湾の中にいるうちは、船の揺れもほとんど気にならないので早めに寝てしまうのが良いです。朝方に三宅島、御蔵島に寄って8時50分ごろに八丈島に到着しました。



3. 旅の醍醐味は寿司と温泉

8月19日、八丈島1日目の朝は小雨でした。たくさんの手荷物に難儀しながら最後の方に下船しました。リトルカブを引き取りに向かうと、コンテナから出てきたところで、受け取ることができました。船の停泊している底土港からこれから向かう底土野営場までは近いので、簡単に支度を済ませて出発しました。

底土野営場に到着して、真っ先に目に入ってきたのは真っ赤なハイビスカスの花。南の島に来たんだなぁと実感させられます（東京都ではあるんですけどね、八丈島…）。滞在しているキャンパーたちは5組程度、リトルカブが近くに置いて、風が気にならない場所を探します。下船したのは最後の方でしたが、到着したのは1番だったので、好みの場所を探す余裕がありました。小雨が降る中での設営だったので、グラウンドシートとフライを先に張って、作業を進めました。100均のレジャーシートが設営が済むまでの荷物置きに活躍してくれました。割り切って使える道具があるというのは便利です。設営、コーヒー休憩の合間にお昼の予約を入れます。



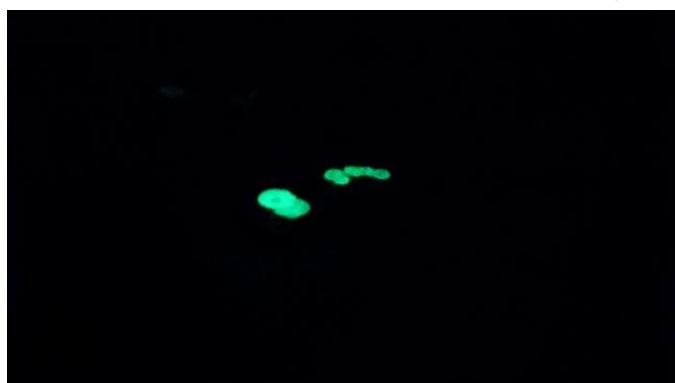
お昼までに時間が少しあったので、ビジターセン

ターに行くことにしました。広い植物公園の中にあり、八丈島の文化や自然について展示がしてあります。無料の施設とは思えないほど楽しめます。個人的には光るキノコの展示が好きです。



光るきのこ発光前

光るきのこ発光後



さて、旅の楽しみの一つといえばその土地の食事でしょう。予約を入れていたのは「すし処 銀八」。島寿司が目当てです。島寿司というのは、醤油漬けにした刺身を使った寿司で、ワサビではなく練ガラシを使うことが特徴の八丈島の郷土料理です。以前来たときはスーパーで売っているものしか食べなかったのですが、寿司屋のものを食べてみようと思っていました。一人前で2000円くらいしますが、食べるだけの価値はあります。メダイも美味しいですが、キンメが最高でした。旨味がギュッと詰まった身に、青唐辛子が効いた醤油がマッチしてずっと食べていたい…。左上にある海苔のお寿司も初めて食べましたが美味しかったです。仕入れの量あまり多くないのか、予約していないと断られてしまうようです。僕が食べている間も何組か来て断られていました。



お腹もいっぱいになったので、八丈島でツーリングを楽しんでいきます。今日は八丈島一周道路（正式には都道215号）の南側を走ります。これは八丈島の南北にそれぞれある八丈富士と三原山の、三原山を裾野をまわる道です。ひたすら登ったり登ったり時折下ったりしていきます。自転車ではないので疲れませんが、寄り道をたくさんしてのんびり回ります。

1か所目、「黄八丈 めゆ工房」。八丈島の名産、黄八丈を作っている工房と販売所が一緒になっています。予約をすると見学や説明もしてくれるらしいです。今回はぼーっと店内を眺めていくだけですが、絹糸を染めていく過程を説明する動画が流れていて、展示してあるものを見るだけでも結構楽しいです。小物類は手ごろな値段で買えますが、お店の奥に飾ってあった着物は900万円するそうで、それはもう見事でした。機織り機が今でも動いているのでそういったものを見ることができるといっても貴重かもしれません。



2か所目、「裏見ヶ滝温泉」。観光地としては、裏見ヶ滝の方を紹介するべきなのだと思います。岩がえぐれていて、滝の裏側まで回り込んで見ることのできる遊歩道がある八丈島の観光名所です。裏見ヶ滝温泉は八丈島に7か所ある温泉施設の1つで、水

着着用で利用できる無料の温泉です。無料とはいえ、地元の方たちで綺麗にしてくださっているようで、とても快適に利用できるのでキャンプに来ている僕のような人からすればありがたい場所です。眺めもいいので1時間ほど滞在しました。余談になりますが、「TRICK-劇場版2-」のロケ地になっていまして、見たことがある人は一層楽しめるかもしれません。



八丈島の有名なものとして、ポットホールがあり、その場所を探しながらさらに走っていきませんが、入り口らしきものを見つけたところで夕方になってしまったので次の日に回すことに。八丈ストアというスーパーで、6時半からお弁当類が半額になるので、そこで買い出しを済ませて野営場へ戻ります。

夕飯も済ませ、持ってきた本をしばらく読んで、それも飽きたので寝てしまおうと思ったのですが、蒸し暑くてちっとも寝れません。野営場を抜け、海沿いの遊歩道を歩いていると、明かりの少なさも手伝って、星がずいぶんと見えます。しばらく星を眺めてから、テントに戻るのですが、蒸し暑さは解消されず、結局日を跨ぐくらいまで寝付けませんでした。八丈島の熱帯夜にはキャンプ生活中、苦しむことになります…。(つづく)